

<森のクイズラリー> 問題&解説シート 2023 年度秋版

A

Q. モミの葉は、ある生きものを寄せ付けないために、香りを出します。
次のうちどれでしょう？

① 鳥

② 虫

③ リス

④ キノコ

【こたえ】 ② 虫

モミの葉を半分にちぎり、よくもんでみると爽やかな香りがします。この香りの成分は、フィトンチッドと呼ばれ、人間には、気分がリラックスする癒しの効果があります。しかし、虫たちはこの香りが苦手！防虫・殺菌効果のある香りを出す事で、葉を食べる虫や葉を枯らす菌などから、自分の身を守っています。1枚の葉の中にも、生きるための工夫がつまっているのですね！

B

Q. 森の道をよ～く見て歩くと、楽しい発見がいっぱい！
色づく秋の森には、どんなものが落ちているでしょう？
ここからゴールまでに、見つけた落ち葉を、お互いに見せ合ってみよう！

【こたえ】 あなたの答えが正解！

赤色、橙色、黄色、茶色など、秋の木の葉はさまざまな色に変化します。平安時代からある、落ち葉の色を表す「朽葉色」=(くすんだ赤味のある黄色)。「朽葉四十八色」と言われるほど、多くの種類があります！
自然の色彩の豊かさと自然をよく見ていた人の心が、色の名前から感じられますね♪

C

Q. 大昔から日本にすんでいるヤマネ。
一体どの位 昔から、日本にすんでいたと言われているでしょう？

① 江戸時代(約300年前)

② 平安時代(約1000年前)

③ 縄文時代(約1万年前)

④ 氷河時代(約500万年前)

【こたえ】 ④ 氷河時代(約500万年前)

今から約500万年前。日本は、ユーラシア大陸(アジアとヨーロッパを合わせた大陸)と陸続き！その頃、ヤマネの祖先は長い時間をかけて、大陸から日本にやってきました。氷河時代をこえ、数百万年も生き続けてきた小さなヤマネ。
これからもヤマネが生きていける森を、みんなで大切にしていきましょう！

D

Q. 秋の森のあちこちに出現するキノコ。
キノコの正体は、何でしょう？

- ① 糸のような菌 ② 木の子ども ③ コケの仲間 ④ 森の妖精

【こたえ】 ① 糸のような菌

キノコは、倒木や落ち葉などを分解して再び土に戻す、自然界のリサイクル屋さん！
次の子孫を残すため、キノコは胞子を飛ばします。胞子は、植物のタネにあたるもの。
まかれた胞子は風に吹かれて、倒木や落ち葉の上に落ち、やがて…
目に見えない位小さな胞子から、糸のようなものがのびていきます！
これがキノコの本体である菌糸です。菌糸は木の根っこことつながって、栄養をやり取りしながら、再びキノコとして地上にあらわれます。
キノコの不思議な世界が、今日も、森の中で繰り返し広がられていることでしょう。

E

Q. いよいよ最終問題です！清里の森を歩いてみて感じたことを、
キーワードにして、頭の図に表してみよう！

【こたえ】 あなたが書いた答えが正解！

あなたの五感(目・耳・鼻・口・手足)に、秋の森は何を語りかけてきたでしょう。
同じ風景を見ても、感じることは人それぞれ違います。
同じ場所でも、日によって見えるもの、出会うものは違います。
感じたことをあなたの言葉にして、ぜひ、周りの人と意見を交換してみてね！

4 コママンガ

「胞子のゆくえ」

